

老人ホームの種類と特徴

老人ホームにはさまざまな種類があり、目的や費用も異なります。
まずはどのような老人ホームがあるのかご紹介しましょう。

老人ホーム	内容
特別養護老人ホーム (特養)	常時介護を必要とする要介護3以上の方が対象です。自宅での生活が困難な、重度の方の優先順位が高いのが特徴です。地方公共団体や社会福祉法人が運営しており、入居の申し込みは居住する市区町村の窓口で行います。
介護老人保健施設 (老健)	病状は安定しているものの、退院してすぐに自宅へ戻るのには不安という場合に自宅に戻るまでの期間、療養・リハビリを兼ねて一時利用する施設です。病院と自宅の中間的な役割を持っています。入所期間は3～6ヵ月程度と短めとなっており、あくまで目的は在宅復帰です。
介護医療院	主に療養上の医療を必要とする方のための施設で、病状が安定期にあり、長期間にわたる療養や介護を行いながら、リハビリを続けていきます。医療処置が必要な場合も入所することができます。
ケアハウス (軽費老人ホーム)	60歳以上で自立生活に不安があり、家族の援助が受けにくい方向けの施設です。所得制限があり、健康状態が悪化し介護が必要になると退去が必要な場合があります(※介護型を除く)。現在は「一般型(自立型)」と「介護型」が主流です。
介護付 有料老人ホーム	介護が必要な高齢者が、常駐スタッフから24時間体制で食事や入浴等の介助を受けて生活できる施設です。サービスは施設の職員が直接提供するため、統一感のあるケアを受けられるのが特徴です。看護師配置による医療面でのサポートも充実しており、終身にわたり安心して生活を送ることができます。
住宅型 有料老人ホーム	食事や生活支援サービスを受けながら暮らし、介護が必要になった場合は外部の介護事業者を自由に選んで利用できます。自立から要介護まで対応し、必要なサービスを選べるため、自分に合った暮らし方ができる施設です。
サービス付き 高齢者向け住宅	バリアフリー設計で安否確認と生活相談サービスが付いた、自由度の高い高齢者向け住宅です。一人暮らしに不安がある方でも安心して生活でき、介護が必要な際は外部サービスを利用しながら住み続けることが可能です。
グループホーム	認知症によって、自立した生活が困難な方が、家庭的な環境の中でスタッフとともに生活する施設のことで、施設所在地と同じ市区町村にお住まいの方が対象となる地域密着型サービスの1つです。5～9人を1ユニットとし、在宅とほぼ同じ環境での生活スタイルで生活全般のサポートを受けられます。
小規模多機能型 居宅介護	介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で生活を継続できるよう、本人の希望に応じて「通い」を中心に「訪問」や「泊まり」を組み合わせ提供する在宅介護サービスです。全てのサービスを同じスタッフが対応するため、顔なじみの職員による連続性のあるケアを利用できる利点があります。
ショートステイ	介護する方が、病気や事故、出産、法事といった一時的に介護を続けることができなくなった場合などに、短期的に入所させることにより、介護する方の負担を軽減するためのものです。

老人ホームのメリットとデメリット

どんな施設でもメリット・デメリットはあります。介護に関する知識量によって差がでると思いますが、あらかじめ老人ホームのメリット・デメリットを知っておくと参考になります。

メリット

- ・ 介護の負担を軽減することができる
- ・ 食事や排泄、入浴等のサービスを受ける事が出来る
- ・ 手すりやバリアフリーなど設備が充実しており職員が常に見てくれるので安心
- ・ ボランティアの方々や職員、他のお年寄り等から刺激を受ける



デメリット

- ・ 個別の希望や意見が取り入れにくい
- ・ 集団生活であるため感染病等の恐れがある

ご本人の健康状態や現在の家庭環境によってどのような老人ホームに入るべきか検討しなくてはなりません。下記のチェック表に一つでも当てはまる場合は要注意です。お気軽にご相談くださいませ。

老人ホームの必要度チェック

未来のことを計画的に考えるのは面倒なことです。老人ホームに関しては、早くから考えて準備しておくことをオススメします。一度、ご自身の家庭環境に照らし合わせて検討してみたいかがでしょうか。

ご本人	ご家族
☐ 子供がいない	☐ ご本人が遠方に住んでいて心配だ
☐ 一人暮らしである	☐ 介護に限界を感じる
☐ 物忘れが多くなってきた	☐ ご本人の状態が悪化している
☐ 介護が必要になっても頼る人がいない	☐ 適切な医療サービスを受けたい
☐ 話し相手がほしい	☐ ご本人の生活サポートをする人が必要
☐ 近くで見守ってくれる人がいてほしい	☐ ご本人に認知症がある
☐ 定期的に医者にご相談したい	☐ 早めに施設を探しておきたい
☐ 将来が不安なので施設を探したい	☐ 相続などの手続きについて知りたい

※一つでもチェックが入った方は老人ホームの入居に関してご相談ください